

軽費老人ホーム 慈愛園ケアハウス 2022年度 事業報告

1 総括

2022年度は、前年度同様に既存の物理的資源や人的資源、厳しい財政状況を踏まえた上で、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神、慈愛園創立者モード・パウラス博士の「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という創立の理念並びに老人福祉法（昭和38年法律第133号）の目的及び基本的理念を今日の状況において具現化するためには何を為すべきかという不断の問いを立て、新型コロナ対策を基盤に据えつつ、入居者の安全、安心と自立（自律）した日常生活を実現するために福祉サービスの公準である公平性、効果性、効率性、接近性に適うことができる良質で適切なサービスを提供するためのICTを活用した体制整備に取り組むことができた。しかし、それらについては未だ十分な状況ではなく、あわせて、職員の専門性の維持増進、人事考課、施設老朽化に伴う改修等々が引き続きの課題として残された。

なお、熊本市による社会福祉施設監査の結果、下記の口頭指摘を受け、法人とも共有しつつ、随時対応しているところである。

（経営事項）

- 慶弔規定の整備（法人全体）

（処遇事項）

- 運営規程：文書保存期間を5年に明文化（条令事項）←対応済み
- 事故発生再発防止担当者の決定：主任支援員←対応済み
- 自己評価の実施と公表（年1回、HP、園内掲示）
- 苦情受付窓口：熊本市の記載←対応済み
- 預り金規定：園長名修正←対応済み

（運営事項）

- 就業時間：別に定める規定に基づき明文化（前回指摘事項：法人全体）
- 給与規定：実績ベースの支払日は当月と翌月を書き分ける（前回指摘事項：法人全体）
- 就業規則：非常勤の控除規定を明文化（前回指摘事項：法人全体）
- 年次有給休暇取得管理台帳の作成（基準日を記入、職員ごとに管理）
- 消防・避難訓練等2回、届け出2回必要
- 非常災害対策計画書の策定と周知（消防計画と分離）

助言事項

- 業務継続計画策定（令和6年度から策定義務：助言）
- 小口と通帳を分けて管理（助言）

2 主な取組とその評価

(1) 慈愛園創立の理念と実践の理解

- 慈愛園創立期の理念と実践を理解し、現在に継承していくために朝礼時の聖書拝読に加え、『くるみの実のなるころ』の輪読終了後、新たに『愛と福祉のはざまに』の輪読をはじめた。このことを通して、一人一人の職員が慈愛園の歴史と当時のパウラス先生の思いについて学びながら、慈愛園職員としての自覚と福祉実践の意義について確認しつつ、日々の実践を行う体制が確保されてきた。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

(2) 効率的で持続可能な施設経営と運営管理体制の構築を図る

- ICT を活用した効率的な情報共有と業務に係るエビデンスを収集するために、Google による無料サービスをはじめ、オープンソースによるデータベースやデータ分析ツールを積極的に活用するとともに、既存データの確実な管理方法についても徐々に整備できている。
- 施設サービスの維持増進を図るためのサービス評価を実施するとともに、個々の職員による自己点検、自己評価の実施並びに、職員会議やケース会議等の各種会議の効率的かつ効果的な実施方法については引き続きの課題となっている。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

(3) 家族や外部の保健医療福祉サービス機関や団体との多職種連携

- ケアハウス入居者当事者をはじめ、家族や居宅サービス事業所その他の関係者からの相談に応じ、連携を強化する観点から、社会福祉士、精神保健福祉士有資格者を老人ホームからの人事異動を行い、生活相談員として配置した。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

(4) 入居者同士のトラブルへの迅速な対応

- ケアハウスにおいては、入居者同士の些細なトラブルや誤解がグループダイナミクスによって施設全体の雰囲気や安定性に重篤な影響を与えるリスクが大きいことから、これらに早期に対応するために朝礼時やケース会議での情報共有と支援の振り返りを行った。
- また、ケース会議で明らかになった課題について、ICT を活用して共有化する仕組みを試験的に開始した。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

(5) 実習指導体制の在り方についての検討

- 将来の人材確保と後進育成の観点から、各種専門資格の取得に係る実習指導体制の在り方についての検討を行い、2022 年度中に一定の結論を得ることにしていたが、検討することができなかった。

数値目標	達成状況
なし	<u>1 達成できなかった</u> 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた 4 達成できた

(6) 地域貢献活動

- 新型コロナウイルス感染症の影響によって地域活動が制限される中で地域の町内会や消防団等の構成員として地域社会への貢献活動を行った。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

3 サービスの利用状況(2023年3月31日現在)

(1)入退所者の状況

- 2022 年度の入退所者の状況については、全体（計）では在宅からの入所が 4 人であった。一方、退所については、他施設への移動による退所が 4 人、死亡による退所が 1 人となっており、入所数を退所数が 1 人上回っていた。なお、2022 年度 3 月末の在籍人数は 37 人となっている。

表 3-1 入退所の状況

月	入所者の状況					退所者の状況						1 日現在在籍人数
	在宅	病院	施設	その他	合計	長期入院	他施設	死亡	在宅	その他	合計	
4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	40
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	40
7	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	40
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
12	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	40
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
3	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	39
計	4	0	0	0	4	0	4	1	0	0	5	—

(2)入居者の状況(表 3-2)

① 定員充足状況等

- 2022 年度末の入居者の状況は、定員 40 人に対して 37 人であり、定員充足率は 92.5%であった。

② 基本属性

- 性別については、男性が 8 人 (21.6%)、女性が 29 人 (78.4%) となっており、男性よりも女性の入居者が多かった。
- 年齢については、男性の平均年齢が 86.25 歳 (S.D.=5.52)、最頻値が 80 代、女性の平均年齢が 85.83 歳 (S.D.=6.11)、最頻値が 80 代となっており、女性よりも男性の年齢が高かった。

③ 在所期間の状況

- 在所期間については、男性の平均年数が7.38年 (S.D.=8.33)、女性の平均年数が6.55年 (S.D.=4.09) であり、女性よりも男性の在所期間が長かった。

④ 要支援・要介護度の状況

- 要支援・要介護等の状況については、男性の認定有りが1人 (12.5%)、女性の認定有りが13人 (44.8%) であった。
- また、要介護度等の状況については、男性の最頻値は要支援2の1人(100.0%)、女性の最頻値は要支援2の4人 (30.8%) と要介護1の4人 (30.8%) であった。

⑤ 認知症の有無

- 認知症の有無については、男性では認知症無しが7人 (87.5%)、女性では認知症無しが25人 (86.2%) であった。

表 3-2 入居者の状況

	入居者数=37 (92.5%)			
	Group	計	男性	女性
n(%)		37(100.0)	8 (21.6)	29 (78.4)
年齢	平均値 (S.D.)	85.92 (5.92)	86.25 (5.52)	85.83 (6.11)
	最小値	75	79	75
	中央値	86	86	86
	最大値	97	94	97
年代 (%)	70代	6 (16.2)	1 (12.5)	5 (17.2)
	80代	21 (56.8)	5 (62.5)	16 (55.2)
	90代	10 (27.0)	2 (25.0)	8 (27.6)
在所期間	平均値 (S.D.)	6.73 (5.16)	7.38 (8.33)	6.55 (4.09)
	最小値	0	1	0
	中央値	6	5	6
	最大値	26	26	14
要介護等認定 (%)	認定無し	23 (62.2)	7 (87.5)	16 (55.2)
	認定有り	14 (37.8)	1 (12.5)	13 (44.8)
要介護等 (%)	要支援1	3 (21.4)	0 (0.0)	3 (23.1)
	要支援2	5 (35.7)	1 (100.0)	4 (30.8)
	要介護1	4 (28.6)	0 (0.0)	4 (30.8)
	要介護2	2 (14.3)	0 (0.0)	2 (15.4)
認知症有無 (%)	認知症無し	32 (86.5)	7 (87.5)	25 (86.2)
	可能性有り	2 (5.4)	0 (0.0)	2 (6.9)
	認知症有り	3 (8.1)	1 (12.5)	2 (6.9)

4 苦情対応の状況

- 2022 年度苦情受付件数は 4 件であり、相談内容はコロナ感染症の対応についての相談が 1 件、認知症のある入居者についての相談が 1 件、施設生活について 2 件の相談申立てがあった。
- ただし、上記件数は 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までのものであり、算定期間が 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日となる事業概況報告書における苦情解決第三者委員への書面による報告の受付件数は、2 件になっていることを付記しておく。

5 主な行事、研修実施状況

- 2022 年度の主な園内行事及び研修の実施状況については、下記表に示すとおりであった。
- なお、ボランティア等の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策のため実績なしとなっている。

表 3-3 2022 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告

2022 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告									
月	園内行事	老	ケ	研修会参加状況	老	ケ	実習・ボランティア・施設見学受入れ	老	ケ
4	4/19 誕生会	○	○	4/1(福) 慈愛園新任職員研修(鍋内、朴、奥村)	○	○	※新型コロナウイルス感染症対策のため 2022 年度においては、ボランティア受入れの実績なし	○	○
5	5/17 誕生会	○	○		○	○			
6	6/21 誕生会	○	○	6/7 市老施協職員研修 (西村)	○				
7	7/15 慰霊祭	○	○	7/26 県社協：社会福祉法人労務研修 (オンライン、福永)	○	○			
	7/19 誕生会	○	○						
8	8/16 誕生会	○	○	8/25～8/26 県社協：リスクマネジメント研修 (潮谷一)					
	8/23 防火訓練 (消防設備取扱について)	○	○	九州老人福祉施設職員研究 Web 大会 (沖縄県、各部署、配信期間 8/1～8/31)					
9	9/13 誕生会	○	○						
	9/19 敬老お祝い会	○	○						
10	10/18 誕生会	○	○						

11	11/15 誕生会			九州老人施設協議会施設長 Web 研修会（鹿児島県、潮谷施設長、配信期間 11/11～12/9）	○	○			
				11/25 慈愛園職員研修（神奈川県、日本基督教団田浦教会、早道、鍋内）	○				
12	12/6 誕生会	○	○	12/15 慈愛園職員研修（神奈川県、日本基督教団田浦教会、早道、鍋内）	○				
	12/14 ホームクリスマス	○	○						
1	1/1 福引大会	○	○				国立看護学校実習受入 (3名) 1/23～1/26	○	
	1/24 誕生会	○	○						
2	2/9 消火訓練	○	○				国立看護学校実習受入 (3名) 1/30～2/2	○	
	2/14 誕生会	○	○						
3	3/23 防火訓練	○	○						
	3/24 誕生会	○	○	業務継続計画（BPC）作成セミナー（厚労省委託事業（一社）中部産業連盟、オンライン 3/7 三島、3/9 福永）	○	○			

6 施設整備等

- 2022年度の主な施設整備・修繕（10万円以上）及び固定資産の取得については、下記表に示すとおりであった。

表3-4 2022年度施設整備・修繕（10万円以上）

施設	施設整備・修繕内容	金額（円）	備考
ケアハウス	非常灯修繕工事	429,000	九電工
	改装内装工事（217号室）	173,000	さとざき
合計		602,000	

表3-5 2022年度固定資産の取得

施設	固定資産名	金額（円）	備考
ケアハウス	壁掛形エアコン（303号室）	125,400	テクノ A&E
	自動血圧計（1階ロビー）	176,000	メディカルコア熊本
合計		301,400	